



ひらかわ

市議会だより

平成29年
9月定例会

第48号

平成29年(2017年)
12月15日発行



平賀東小学校稲刈り体験



松崎保育園じゃがいも収穫体験



ひらかわフェスタ



平成29年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会

目次

◆平成29年第3回(9月)定例会(概要)	2
(審議した議案)	3~4
◆決算特別委員会(平成28年度決算審査)	5~8
◆議決一覧表	9~10
◆市政に関する一般質問より(9議員)	11~16
◆青森県市議会議員研修会	16
◆議員研修視察報告	17~19
◆議会の動き・編集室から	20

発行：青森県平川市議会 編集：平川市議会広報特別委員会

〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25番地6 TEL(0172)44-1111 FAX(0172)44-6988

平川市ホームページ：<http://www.city.hirakawa.lg.jp/> メールアドレス：gikai@city.hirakawa.lg.jp

この印刷物は11,000部作成し、印刷経費は1部あたり約17.7円です。

第3回（9月）定例会

決算特別委員会設置

平成29年第3回平川市議会定例会は、9月7日から22日までの16日間を会期として開催されました。本定例会では、平成28年度一般会計などの決算（26件）を審査するために、議員全員で構成する決算特別委員会が設置されました。

本定例会に提出されました議案は、人事案件2件、条例改正案2件、補正予算案7件、決算26件、報告3件、その他3件、議員派遣2件の合計45件でした。また、最終日（22日）には、工事の請負契約1件が追加議案として提出されました。

これらを慎重に審議した結果、議案第92号から第94号及び議案第97号の4件は起立採決の結果、原案認定となりました。その他の議案については、すべて原案同意、原案可決または原案認定となりました。



【会期日程】

- 9月7日(木)本会議
- 9月8日(金)(議案熟考のため休会)
- 9月9日(土)(休会)
- 9月10日(日)(休会)
- 9月11日(月)常任委員会
- 9月12日(火)(議案熟考のため休会)
- 9月13日(水)本会議(一般質問1日目)
- 9月14日(木)本会議(一般質問2日目)
- 9月15日(金)決算特別委員会
- 9月16日(土)(休会)
- 9月17日(日)(休会)
- 9月18日(月)(休会)
- 9月19日(火)決算特別委員会
- 9月20日(水)決算特別委員会
- 9月21日(木)(議事整理のため休会)
- 9月22日(金)本会議(最終日)



審議した議案

人事案件

●人権擁護委員に

そうま まさえい
相馬 正栄 氏を同意

人権擁護委員 相馬正栄氏の任期が平成29年12月31日をもって満了するため、再任について同意した。

住 所 平川市碓ヶ関
昭和17年生

●人権擁護委員に

ふくし ゆきお
福士 幸雄 氏を同意

人権擁護委員 福士幸雄氏の任期が平成29年12月31日をもって満了するため、再任について同意した。

住 所 平川市新山
昭和19年生

条例案・条例改正案

- 平川市介護保険条例の一部を改正する条例案
(平成29年9月22日から施行)
介護保険法の一部改正に伴い、被保険者等に関する調査における罰則の規定を改める必要が生じたため。

質 疑

問 平川市介護保険条例第17条に記載された罰則に関し、当市における具体的事例はあったか。

答 罰則については適用したことがない。

- 平川市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

(平成29年9月22日から施行)

介護保険法施行規則の一部改正に伴い、地域包括支援センターに配置する職員に係る基準を改める必要が生じたため。

質 疑

問 平成29年第1回定例会で議決した議案第9号平川市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案との違いは。

答 今般の改正は、介護保険法施行規則の一部改正に伴い、主任介護支援専門員の定義について明確化したものである。

そ の 他

- 定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について

弘前市との間における弘前圏域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について、平川市議会の議決すべき事件を定める条例第2条の規定及び弘前圏域定住自立圏の形成に関する協定書第5条の規定により、議会の議決を必要とするため。

- 工事委託基本協定の一部変更について

古懸交差点改良工事について、工事内容の変更による基本協定金額を変更するため。

質 疑

問 委託工事の変更内容について。

答 今年度、国土交通省に委託する工事の諸経費率の上昇や、河川敷地の現況の変化による仮設搬入路工及び締め切り排水工の追加が必要になったことなどに伴う変更である。

- 訴えの提起について

市が所有する施設を損壊したことに関し、示談に基づく分割金の支払請求の訴えを提起するため。

●工事の請負契約について

平川市立猿賀小学校校舎改築工事について、請負契約を締結するため。

補正予算

一般会計

予算の総額に歳入歳出それぞれ6,813万6,000円を追加し、総額を197億17万6,000円とする。

質疑

問 鑑定評価業務委託料の位置付けについて。

答 土地の活用の可能性について、今後の議論を行うためのものである。

国民健康保険特別会計

予算の総額に歳入歳出それぞれ4,481万2,000円を追加し、総額を48億2,262万4,000円とする。

質疑

問 平成29年度会計見込みについて。

答 歳入は当初予算計上していた3,226万7,000円のほか、今回の返還分として4,575万3,000円を財政調整基金から繰り入れし、決算時には1億5,100万円程度になる見込みである。歳出は一般の被保険者の療養給付費などは予算比約87%で推移しており、このままであれば平成28年度より下がると考えられる。

介護保険特別会計

予算の総額に歳入歳出それぞれ4,336万5,000円を追加し、総額を38億6,770万2,000円とする。

国民健康保険診療施設事業診療所特別会計

予算の総額から歳入歳出それぞれ683万円を減額し、総額を3億650万8,000円とする。

学校給食センター特別会計

予算の総額から歳入歳出それぞれ700万2,000円を減額し、総額を3億987万1,000円とする。

質疑

問 経年劣化工事の設計等委託料の内容について。

答 平賀学校給食センターの壁や天井などの内装工事、外壁や屋上の経年劣化工事、手洗いの機械について改修・更新、食材搬入口の舗装工事の4点について工事の設計を委託し、平成30年度予算に計上したいと考えている。

水道事業会計

人件費の調整のため、収益的支出に81万3,000円を追加するものである。

下水道事業会計

人件費の調整のため、収益的支出の公共下水道事業費用を137万6,000円減額し、特定環境保全公共下水道事業費用に4万8,000円、農業集落排水事業費用に3万円を追加するものである。

報 告

●平成28年度平川市健全化判断比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定に基づき、平成28年度決算により健全化判断比率が財政的に健全である旨を報告する。

●平成28年度平川市資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定に基づき、水道事業会計、下水道事業会計及び簡易水道特別会計について資金不足はなく、健全である旨を報告する。

●平成28年度平川市一般会計継続費精算報告書について

平成27年度から平成28年度まで継続費を設定し進めていた第2期平賀総合運動施設整備事業が終了したので、地方自治法施行令第145条第2項の規定に基づき報告する。

決算特別委員会

平成28年度一般会計決算

歳出総額186億287万円

決算特別委員会は議員20名全員を委員とし、9月7日に、委員長に齋藤英仁委員、副委員長に大川 登委員が指名推選により選任されました。

9月15日・19日・20日の3日間、一般会計を含む特別会計及び企業会計の平成28年度決算認定について審査しました。

各委員から活発な質疑が行われた結果、一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計並びに学校給食センター特別会計は起立採決により賛成多数で原案認定、その他会計決算は全会一致で原案可決及び認定、または原案認定されました。

(※質疑内容は要約し、また、討論は本会議より抜粋して掲載しています。)



齋藤英仁 委員長



大川 登 副委員長

一般会計

歳入全般

問 固定資産税の現年度課税分の不納欠損額について。

答 処理した件数は32件。納税義務者の死亡による相続放棄が27件で66万800円、法人の倒産によるものが5件で145万7,200円である。

問 墓地の使用料が減となった理由は。

答 新館公営墓地に新規の区画を整備し、平成27年度に17区画の新規使用があったが、平成28年度には4区画に減となったため。

歳出全般

総務費

問 移住者住宅支援補助金について、市外・県外からの移住者は。

答 今事業補助金を活用した県内からの移住者は17世帯49人、県外からの移住者は千葉県から1世帯の4人である。

民生費

問 特定不妊治療費給付費について、出産に結びついた件数は。

答 制度を活用して生まれた子どもは、総数13人、年度内では5人である。

衛生費

問 がん検診の受診率が低い原因について。

答 自費で個別に検診を受けている人や既に治療をしている人などの数は把握できておらず、また、仕事の関係で受診できない人もまだまだ多いということが原因と考える。

農林水産業費

問 林業専用道新設工事の内容について。

答 市有林の間伐材を搬出するため、国の補助金を使って小国深沢地区、碓ヶ関相沢地区の市有林2か所に林業専用道を新設する工事である。

商工費

問 ひらかわ婚活事業補助金について。

答 「カップリングパーティー」、「ひらかわ街コンde night」という2つの事業に対しての補助金である。追跡調査はしていないため、成婚したかどうかの情報はつかんでいない。

土木費

問 公有財産購入費の内容について。

答 新館野木和町居線及び南田中新屋町線道路改良工事2件に伴う道路用地の買収費である。

消防費

問 弘前地区消防事務組合負担金が昨年と比べ増となった理由は。

答 消防事務組合で平成26年、27年に2事業を実施しており、その組合の構成市町村に割り当てられている事業負担分である。

教育費

問 高校大学等奨学貸付金について。

答 平成28年度は高校が8名、短大・専門学校が2名、大学・大学院が22名。貸付については年々減少傾向である。

反対討論あり

地方交付税制度には交付税のあり方をゆがめるトップランナー方式が導入されており、地方交付税を中心とする依存財源に頼っている平川市にとって、この国の方針は今後も市の財政運営へ影響を与えるものであること、また、総合運動施設整備に関する実施設計後に変更となった工事に対し、反対するものである。

賛成討論あり

平成28年度決算では、年々増加している福祉関係の扶助費や東部地区デイサービスセンター新築事業などの普通建設事業費に支出していることから、市民生活の環境整備や地域経済の活性化に寄与したものと高く評価できる。また、市の人口ビジョンに基づいた事業の執行や随所に財政健全化に向けた取り組みが実現しているため、賛成する。

特別会計

国民健康保険特別会計

問 医療給付費分滞納繰越分、後期高齢者支援金分滞納繰越分、介護納付金分滞納繰越分の内容について。

答 平成27年度に比べ、収入未済額では22世帯230万5,233円の減、不納欠損では32世帯483万256円の減である。

反対討論あり

国保は、低所得者が多く加入する医療保険でありながら保険料が高いという制度の構造的矛盾を抱えており、担税能力を超える問題が山積している。解決策は、国庫負担を引き上げ、社会保障制度としての国の役割に立ち返った改革を望むものであり、よって賛成を見送る。

賛成討論あり

歳入の収納状況では高い収納率を維持し、その経営努力が認められる。歳出では保険給付費が対前年度比3.4%減少しており、医療費の適正化対策及び被保険者の健康保持増進のための保健事業が適正に実施される等、健全な国保事業の運営が図られているため、賛成する。

介護保険特別会計

問 家族介護教室委託料について。

答 市内5か所の在宅介護支援センターに委託しており、各事業所年3回、計15回実施している。委託料は教室1回当たり3万円、平成28年度の参加者は5事業所全体で220名となっている。

反対討論あり

不納欠損額が平成27年度比25.3%増であることから、支払えない高齢者からも徴収する制度の構造的欠陥、矛盾を感じている。平成28年度の決算は第7期の事業計画にも反映されるが、既に制度は崩壊寸前で、制度は残っても介護なしの実態が見えるため、反対する。

賛成討論あり

平成28年度の決算は、保険料収入を確保し必要な介護サービスを提供する一方、介護予防事業や在宅介護をする家族への支援等、地域支援事業を積極的に展開しており、健全な財政運営のための努力が認められるため、賛成する。

学校給食センター特別会計

問 学校給食センター増改築工事実施設計委託料について、予定価格と入札の状況は。

答 予定価格が2,083万6,440円、契約額が1,814万4,000万である。

反対討論あり

統廃合により大規模となる平賀学校給食センターでの地産地消・食育の充実は、職員の増員を含め、よほどの努力をしないと困難を極めるものと思われる。今後老朽化していく平賀学校給食センターを増築するのではなく、十分な考察や議論を尽くすべきではなかったかと強く感じたため、反対する。

賛成討論あり

安全・安心、望ましい食習慣や地域の伝統的な食文化等について理解を深める学校給食の視点から見ると、今後一層の施設の充実と衛生・安全管理が強化される決算となっているため、適正な予算執行が行われたものと評価し、賛成する。

国民健康保険診療施設事業診療所特別会計

問 平成28年度に診療報酬が改定となったが、平川診療所への影響は。

答 手技料が増となるが検査や薬価の項目で減となるため、大きな増減には至っていないものと考ええる。

平成28年度 各会計の決算状況

会計名		収入額	支出額	
一 般 会 計		191億8,763万6,200円	186億 286万8,784円	
特別会計	国 民 健 康 保 険	46億7,756万7,455円	45億6,173万8,265円	
	介 護 保 険	37億 524万1,922円	36億 836万7,458円	
	後 期 高 齢 者 医 療	2億6,127万2,173円	2億6,067万3,673円	
	診 療 所	3億1,047万9,487円	3億1,047万9,487円	
	学 校 給 食 セ ン タ ー	3億3,946万4,856円	3億2,802万1,856円	
	尾上地区住宅団地温泉事業	1,340万9,641円	920万 168円	
	簡 易 水 道	1,840万2,507円	1,840万2,507円	
計		285億1,347万4,241円	276億9,975万2,198円	
企業会計	水 道 事 業	収 益 的	5億8,242万5,153円	4億7,323万6,839円
		資 本 的	1,700万6,000円	1億3,096万1,624円
	下 水 道 事 業	収 益 的	9億9,769万8,944円	10億5,635万2,477円
		資 本 的	4億3,024万7,000円	6億9,498万2,530円

平成28年度 一般会計の決算状況

【歳入】

(単位：円)

款		割合 (%)	予算現額	収入済額	収入割合 (%)			
					予算対	歳入計対		
自主財源	市 税	21.0	2,378,992,501	2,371,021,000	2,378,992,501	100.3	12.4	
	分担金及び負担金		46,677,000	46,360,298	99.3	0.2		
	使用料及び手数料		106,805,000	113,968,658	106.7	0.6		
	財産収入		87,059,000	87,443,490	100.4	0.5		
	寄附金		281,878,000	281,888,734	100.0	1.5		
	繰入金		300,001,000	300,000,000	100.0	1.6		
	繰越金		252,755,000	252,755,533	100	1.3		
	諸収入		503,402,000	564,151,270	112.1	2.9		
依存財源	地方譲与税	79.0	820,923,556	218,474,000	218,474,000	100	1.1	
	利子割交付金			2,745,000	2,745,000	100	0	
	配当割交付金			3,466,000	3,466,000	100	0	
	株式等譲渡所得割交付金			1,766,000	1,766,000	100	0	
	地方消費税交付金			519,256,000	519,256,000	100	2.7	
	ゴルフ場利用税交付金			13,602,000	13,602,556	100	0.1	
	自動車取得税交付金			42,089,000	42,089,000	100	0.2	
	地方特例交付金			15,517,000	15,517,000	100	0.1	
	交通安全対策特別交付金			4,000,000	4,008,000	100.2	0	
	地方交付税			7,968,670,000	7,968,670,000	7,968,670,000	100	41.5
	国庫支出金			4,109,547,160	2,926,670,000	2,614,178,766	89.3	13.6
	県支出金			1,552,762,000	1,495,368,394	96.3	7.8	
	市債			2,262,935,000	3,071,935,000	2,262,935,000	73.7	11.8
歳入合計		19,187,636,200	20,290,550,000	19,187,636,200	94.6	100		

【歳出】

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	繰越額	執行割合 (%)	
				予算対	歳出計対
議会費	162,708,000	161,170,688	0	99.1	0.9
総務費	2,549,746,000	2,475,932,042	32,816,000	97.1	13.3
民生費	6,047,834,000	5,759,982,950	58,797,000	95.2	31.0
衛生費	930,081,000	905,986,136	0	97.4	4.9
労働費	81,000	29,786	0	36.8	0
農林水産費	1,179,162,000	1,117,023,882	41,000,000	94.7	6.0
商工費	512,591,000	506,042,458	0	98.7	2.7
土木費	1,701,723,000	1,570,905,295	90,319,000	92.3	8.4
消防費	757,888,000	750,638,696	0	99.0	4.0
教育費	3,696,601,000	2,624,608,258	1,021,237,000	71.0	14.1
災害復旧費	49,125,000	48,941,523	0	99.6	0.3
公債費	2,681,666,000	2,681,607,070	0	100	14.4
予備費	21,344,000	0	0	0	0
歳出合計	20,290,550,000	18,602,868,784	1,244,169,000	91.7	100

※構成比は、四捨五入のため積算が一致しない場合があります。

平成29年（9月議会）

第3回 定例会議決一覧表

議案番号	議案名	本会議		常任委員会等		
		結果	備考	付託先	結果	備考
【人事案件】						
78	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意		付託省略		
79	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意		付託省略		
【条例案・条例改正案】						
80	平川市介護保険条例の一部を改正する条例案	原案可決		教育民生	原案可決	
81	平川市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	原案可決		教育民生	原案可決	
【その他】						
82	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について	原案可決		総務企画	原案可決	
83	工事委託基本協定の一部変更について	原案可決		建設経済	原案可決	
84	訴えの提起について	原案可決		教育民生	原案可決	
118	工事の請負契約について	原案可決		付託省略		
【補正予算案】						
85	平成29年度平川市一般会計補正予算案（第2号）	原案可決		総務企画	原案可決	
86	平成29年度平川市国民健康保険特別会計補正予算案（第1号）	原案可決		教育民生	原案可決	
87	平成29年度平川市介護保険特別会計補正予算案（第1号）	原案可決		教育民生	原案可決	
88	平成29年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算案（第1号）	原案可決		教育民生	原案可決	
89	平成29年度平川市学校給食センター特別会計補正予算案（第1号）	原案可決		教育民生	原案可決	
90	平成29年度平川市水道事業会計補正予算案（第1号）	原案可決		建設経済	原案可決	
91	平成29年度平川市下水道事業会計補正予算案（第1号）	原案可決		建設経済	原案可決	
【歳入歳出決算】						
92	平成28年度平川市一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	起立採決	決算特別	原案認定	起立採決
93	平成28年度平川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	起立採決	決算特別	原案認定	起立採決
94	平成28年度平川市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	起立採決	決算特別	原案認定	起立採決
95	平成28年度平川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
96	平成28年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
97	平成28年度平川市学校給食センター特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	起立採決	決算特別	原案認定	起立採決
98	平成28年度平川市尾上地区住宅団地温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
99	平成28年度平川市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
100	平成28年度平川市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定について	原案可決及び認定		決算特別	原案可決及び認定	
101	平成28年度平川市下水道事業会計決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
102	平成28年度平川市広船財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
103	平成28年度平川市小和森財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	

議案番号	議案名	本会議		常任委員会等		
		結果	備考	付託先	結果	備考
104	平成28年度平川市大坊財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
105	平成28年度平川市石郷財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
106	平成28年度平川市柏木町財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
107	平成28年度平川市大字大光寺財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
108	平成28年度平川市平田森財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
109	平成28年度平川市新尾崎財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
110	平成28年度平川市新館財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
111	平成28年度平川市沖館財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
112	平成28年度平川市葛川財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
113	平成28年度平川市吹上・高畑財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
114	平成28年度平川市原田財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
115	平成28年度平川市岩館財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
116	平成28年度平川市館田財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
117	平成28年度平川市碓ヶ関財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
【報告】						
10	平成28年度平川市健全化判断比率について					
11	平成28年度平川市資金不足比率について					
12	平成28年度平川市一般会計継続費精算報告書について					
【議員派遣】						
2	議員の派遣について	原案可決		付託省略		
3	議員の派遣について	原案可決		付託省略		

請願書・陳情書の出し方

請願書・陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ① 請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に、分かりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、請願（陳情）者の住所、氏名（法人の場合は、その名称及び代表者氏名）を書いて必ず押印してください。
- ③ 請願の場合は、一人以上の紹介議員が必要になります。紹介する議員は、署名または記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

【記入例】

平成 年 月 日

平川市議会議長(氏名) 殿

請願(陳情)者 住所
氏名 ㊟
紹介議員 氏名 ㊟

〇〇〇に関する請願(陳情)書

【請願(陳情)の要旨】

【理 由】

市政に関する一般質問より

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問します。ここでは内容を要約して掲載しております。



平成29年第3回(9月)定例会 一般質問傍聴席

※9月定例会では14名の方が傍聴されました

1. 桑田 公憲 議員 (一問一答方式)

1. 長尾市政1期目の総括について
2. 平川市の財政状況と財政運営について

2. 原田 淳 議員 (一問一答方式)

1. もみじ学園と青葉寮両施設の移譲について
2. 小・中学校の洋式トイレについて
3. 平賀総合運動施設に桜の木の植栽について

3. 山口 金光 議員 (一括質問方式)

1. 結婚・子育て世代の定住促進について

4. 工藤 竹雄 議員 (一問一答方式)

1. 新市建設計画について

5. 福士 稔 議員 (一問一答方式)

1. 介護保険制度について
2. 生活保護の現状と対策について
3. 外国人技能実習制度実施に向けた提案について
4. 新館野木和町居線における道路整備の進捗状況について

6. 工藤 貴弘 議員 (一問一答方式)

1. 観光振興対策について
2. 小学校新学習指導要領への対応について

7. 長内 秀樹 議員 (一問一答方式)

1. りんご黒星病について
2. 介護保険地域支援事業の任意事業について
3. 新庁舎建設について

8. 齋藤 律子 議員 (一問一答方式)

1. 第7期介護保険事業計画について
2. 平川市陸上競技場について
3. 実施設計後に変更となった工事について

9. 石田 昭弘 議員 (一問一答方式)

1. 通級指導教室開設について
2. 観光入込客数について
3. 観光振興について
4. グリーン・ツーリズムについて



桑田 公憲 議員

会 派：誠心会
行政区：唐竹

※可搬式ねぶた
折りたたんで運搬でき、県内外の各種イベントに出陣する観光PR用ねぶた。

1. 長尾市政1期目の総括について

問 各プロジェクトの取り組み状況とその評価について。

答 津軽みらい農業協同組合種子センターの竣工や陸上競技場の竣工、ひらかドームの暖房装置の設置、可搬式ねぶた^(※)の製作、友好交流協定を締結した台湾台中市での観光PR等々の施策に職員と一丸となって取り組んだ結果、公約に掲げた「元気なまちづくり」を進めることができたと考える。

2. 平川市の財政状況と財政運営について

問① 合併時と現在の基金保有額及び地方債残高について。

② 合併時の財政状況からの脱却の取り組みについて。

③ 長期的な財政運営計画の策定について。

④ 新体育館整備の財政運営について。

答① 合併時の基金保有額は25億200万円、平成28年度末現在では91億4,800万円である。また、合併初年度末の起債残高が236億1,900万円に対し、平成28年度末現在では109億8,200万円である。

② 人件費の抑制や指定管理制度の導入、民間委託等の推進、公債費の負担軽減のための繰上償還などの行財政改革の推進に取り組んだ結果、地方債残高が減少し、安定的な財政運営の見通しが立った。

③ 不確定要素が多いため難しいが、現在策定中の計画では大型建設事業の起債残高などについて長期的な推計をご説明したいと考えている。

④ 現在、合併特例債よりもさらに有利な緊急防災・減災事業債の活用など、財政運営上最も効率的で負担の軽減が図られる方法で整備をしたい。



原田 淳 議員

会 派：新風の会
行政区：沖館

※もみじ学園、青葉寮
南黒地方福祉事務組合が運営する障害者支援施設。組合の構成市町村は青森市、黒石市、藤崎町、大鰐町、田舎館村、平川市。

1. もみじ学園と青葉寮^(※)両施設の移譲について

問① 移譲後の各市町村の負担額について。

② 6市町村の障害児及び障害者の人数について。

③ 移譲後の職員の処遇について。

答① 現在、南黒地方福祉事務組合運営費の一部を充てており、別途利用者の入所費やサービスの利用料を負担しているが、民間移譲後は組合運営費の負担がなくなり、利用料はこれまでどおり負担することとなる。

② 今年3月末現在、6市町村の合計で障害児が666人、障害者が2,735人となっており、近年増加傾向にある。

③ 移譲先法人に雇用され引き続き施設に勤務するか、組合解散日をもって退職となるが、どちらも希望しない場合は、出身地の市町村が職員として採用することとなっている。

2. 小・中学校の洋式トイレについて

問 和式トイレから洋式トイレへの改修年次計画について。

答 洋式トイレが不足している柏木小学校、竹館小学校、平賀東中学校を対象に平成30年度から整備していく予定である。

3. 平賀総合運動施設に桜の木の植栽について

問① スポーツランドひらかに桜の木を植栽してほしい。

② 旧診療所にある桜の木をスポーツランドひらかに移植してほしいか。

答① 今後、計画的に整備していきたい。

② 詳細な調査をし、可能であれば移植していきたい。



山口 金光 議員

会 派：一心会
行政区：猿賀



1. 結婚・子育て世代の定住促進について

- 問①** 結婚・子育て世代の社会増減の現状と今後の見通しについて。
 ② その社会増減を向上させるための定住促進策について。
 ③ まちづくり、空き地対策、経済活性化等の総合的観点からの「結婚・子育て世代の定住促進」策について。
 ④ 財源確保（本庁舎建設規模の圧縮等）について。

- 答①** 当市への婚姻届の届出件数は、平成28年度で107件である。人口減により婚姻件数も減少傾向と考えられるが、近年は新たに住居を構える子育て世帯が増えており、婚姻件数の減少分を補っているものとする。
- ② 代表的なものとして住宅支援施策があり、実績が159件、うち子育て世帯は116件となっている。そのほかこども医療費の無料化では、今年度から小学生は通院も対象としたほか、所得制限を撤廃し医療費完全無料化を実現している。
- ③ 市内で行う宅地開発事業費の支援などの支援事業で市内経済の活性化を図っており、子育て支援策として第2子以降の保育所等保育料の無料化を平成26年度から実施している。また、就職支援策として企業に対する雇用促進奨励金などがあり、就職の支援につなげていきたい。
- ④ 市の施策展開について、定住促進、本庁舎建設の2事業のうちどちらかを縮小して捻出した財源を他方の拡充に充てるということではなく、全体を見通したうえで総合的に判断していくこととなる。



工藤 竹雄 議員

会 派：所属なし
行政区：八幡崎



1. 新市建設計画について(第5章 新市建設の基本方針 第4節 土地利用・地域別整備の方針)

- 問①** 都市機能ゾーンの実績について。
 ② 生活空間ゾーンの実績について。
 ③ 産業振興ゾーンの実績について。
 ④ 自然環境保全ゾーンの実績について。

- 答①** 主な事業としては、総合運動場整備事業や平川診療所新築事業、文化センター大規模改修事業などが挙げられる。
- ② 主な事業は、おのえスポーツセンター野球場改修や多目的広場の整備事業、碓ヶ関診療所開設事業、集会施設整備事業などのコミュニティー施設整備、古懸不動野線道路改築事業など。現在は、さるか荘大規模改修事業に取り組んでいる状況である。
- ③ 主な事業は、津軽みらい農協のカントリーエレベーター整備への支援である食料自給率向上産地再生緊急対策事業、りんご共同防除組織支援事業、木質バイオマス発電事業への支援、新規工場設置に対する課税免除制度などである。
- ④ 主な事業は、林道整備や白岩森林公園、志賀坊森林公園、たけのこの里に関する整備などである。



福士 稔 議員

会 派：誠心会
行政区：広船

※地域包括ケアシステム

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで継続できるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供するケアシステム。

1. 介護保険制度について

- 問① 少子高齢化が進む中での介護保険サービスの確保について。
② 地域包括ケアシステム^(※)はどのように構築していくのか。

答① 従来型のホームヘルプサービスやデイサービスに加え、家事援助等の高齢者ニーズにあった多様な生活支援サービスの創出・提供など、介護予防・日常生活支援総合事業の充実を図っていきたい。
② 上記の事業のほか、在宅医療・介護の連携推進及び認知症施策を推進し、限られた社会資源の効果的な利用により構築していきたい。

2. 生活保護の現状と対策について

- 問① 生活保護受給者のギャンブルへの対応について。
② 生活保護費の適正受給に向けた対応について。

答① 生活保護法ではギャンブルの禁止規定がなく、一律制限はしていない。
② 家庭訪問を通じて実態把握に努め、定期的に収入申告書の提出を求めて収入の有無や内容を確認している。

3. 外国人技能実習制度実施に向けた提案について

- 問 市は制度をどれくらい把握しているか。

答 冬期間の作業が少ないリンゴ農家は、1年目の通年雇用という必須条件を満たすことが難しいため、制度の運用改善を国に働きかけている。

4. 新館野木和町居線における道路整備の進捗状況について

- 問 進捗状況について。

答 現在までの進捗状況は72%となっている。



工藤 貴弘 議員

会 派：誠心会
行政区：柏木町

※AR

コンピューターを利用して、現実の風景に情報を重ね合わせて表示する技術。拡張現実。

※VR

コンピューターを用いて人工的な環境を作り出し、あたかもそこにいるかのように感じさせること。仮想現実。

1. 観光振興対策について

- 問① ねぶた運行の奨励金の現状と将来拡充する考えは。
② 「平川ねぶたまつり」有料観覧席の増設について。
③ 冬の観光について、今後どのように展開していくのか。
④ AR^(※)、VR^(※)の活用について。

答① 現在1団体につき10万円を交付しており、弘前市、黒石市では5万円程度である。当面は現状のままでいきたい。
② 現在コース沿道が観客で埋まっており、今後の目標動員数増加が困難なため、有料観覧席の増設はぜひとも実現したい。
③ 今年はイルミネーション事業とキャンドルナイトを予定している。また降雪のない国の方向けに温泉宿泊を絡め、歩くスキーやスノーシュー、ミニかまくらなどの体験メニューを計画している。
④ 現在はまち歩き用パンフレットでARを活用した情報発信をしている。VRについては多大な経費が伴うため、現在のところ導入を考えていない。

2. 小学校新学習指導要領への対応について

- 問① 英語学習の現状について。
② プログラミング学習について。

答① 「聞く」「話す」を中心に、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませること等を目的とした外国語活動が、5年生及び6年生で実施されている。
② 今日、情報技術は急激な進展を遂げ、子どもたちの情報活用能力育成が重要と考える。平成32年度の新学習指導要領の全面実施を見据え、小・中学校段階を通じた効果的な実施のあり方等について考えていきたい。



長内 秀樹 議員

会 派：誠心会
行政区：尾上

※GPS

カーナビゲーション・システムなどに用いられている人工衛星を利用した位置情報計測システム。

1. りんご黒星病について

問① まん延防止対策について、薬剤費等の支援は。

② りんご放任園での対策について。

答① りんご協会やJA等による指導と各農家の自助努力により今年度の黒星病の発生率が昨年より減少しているため、薬剤費助成は考えていない。

② 放任園の所有者に伐採のお願いを行っているが承諾が得られない状況であり、緊急的な対応のため市単独での伐採処理事業を検討したい。

2. 介護保険地域支援事業の任意事業について

問① 平川市認知症高齢者徘徊見守りカード交付事業について。

② 高齢者認知症対策に係る「GPS端末(*)」の導入について。

答① 登録者数は15人。実際に徘徊者の保護につながった案件は2件である。

② 当市においても実施の方向で検討している。

3. 新庁舎建設について

問① 新庁舎建設業務の進捗状況は。

② 新庁舎建設委員会とプロポーザルに係る選定業者との関係は。

答① 旧平川診療所はアスベスト除去後、おおむね年内での解体終了を予定している。新庁舎については現在最優秀者の業者と協議しており、平成31年度には工事に着手する計画である。

② 最優秀者の提案で市民の意見を取り入れるワークショップを開催し、本庁舎建設委員会委員も参加する予定である。そのほかパブリックコメントを実施し、広く市民からの意見をいただくこととしている。



齋藤 律子 議員

会 派：所属なし
(日本共産党)
行政区：蒲田



1. 第7期介護保険事業計画について

問① 持続可能な介護サービスを提供するための市の考え方について。

② 策定のスケジュールと方針について。

答① 介護予防や自立支援、重度化防止の取り組みを推進し、費用の効率化を図っていく必要があると考えており、現在、来年度以降実施する新たな生活支援サービスの創出と提供体制の構築に向けて取り組んでいる。

② 今年度当初に実施した介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等の分析結果と市民の聞き取り結果をもとに計画を策定していく。今後は、平成30年3月定例会において条例改正案と予算案を提案する予定である。

2. 平川市陸上競技場について

問 市民からの観覧席・木陰がない、トイレが少ないとの声と改善について。

答 大会主催者等に対し、観覧場所等の施設使用上の注意事項やひらかドーム・平賀テニスコートのトイレ案内の周知徹底を図る。また、木陰でくつろげるよう、計画的な植栽をしたい。

3. 実施設計後に変更となった工事について

問 主要な建築工事の変更理由と今後の対応は。

答 直近の5年では18件の工事で設計変更を行っており、変更理由は発注者である市から追加指示したものが最も多い。今後は、設計に盛り込む内容を精査し設計図書に反映させることで追加工事の縮減を図りたい。



石田 昭弘 議員

会 派：新風の会
行政区：猿賀

※グリーン・ツーリズム

農山漁村などに長く滞在し、その地域の自然や文化に触れ、地元の人々との交流を楽しむ旅。

1. 通級指導教室開設について

問 現状及び設置場所と開設期日について。

答 平川市通級指導教室実施要綱を整備し、設置校を金田小学校、開設場所を尾上総合支所3階とした。開設時期は平成30年4月の予定である。

2. 観光入込客数について

問 観光入込客数を年間100万人とする目標の根拠または意図について。

答 高いハードルだが、厳しい人口減少時代に立ち向かうため高い志をもってチャレンジすべきとの意見があり、設定したものである。

3. 観光振興について

問① 北限に観る蓮の花まつりの期間延長とイベントの開催について。

② イルミネーションを夏のねぶたまつりでも実施してはどうか。

答① マンパワーの確保のため、関係機関と協議していきたい。

② 配線がねぶた運行の支障となり、イルミネーションの明かりがねぶたの風情を損なう可能性があるため、考えていない。

4. グリーン・ツーリズム(※)について

問 現状と今後の取り組みについて。

答 現在、ファームステイの実施団体に対し施設整備や支援等を実施している。今後も実施団体の事業活動について相談に応じていきたい。

青森県市議会議員研修会開催

平成29年10月4日、五所川原市プラザマリユウ五所川原を主会場に県内10市より議員が参加し、研修会が実施されました。

山梨学院大学教授である江藤俊昭氏による講演会「人口減少社会における議会のあり方について」があり、その後は太宰治記念館「斜陽館」と津軽三味線会館を視察したのち、主会場において議員相互による活発な意見交換会が行われました。



議員研修視察報告

●研修視察期間

平成29年8月31日（木）～9月3日（日）〔3泊4日〕

●視察先

台湾台中市（市政府、文化・観光施設、工業団地、温泉施設等）

●研修目的

青森県と平川市及び台中市は、各々の地域の発展に向け、産業・文化・スポーツ・教育など幅広い分野における交流を推進するとともに、友好交流をさらに深めるため、三者による友好交流協定を平成28年12月14日に締結した。これを契機に、平川市では観光誘客活動、イベント交流、ファームステイ、インターンシップ受け入れ等に対して積極的に取り組んでいる。また、外国人観光客受け入れのための環境整備も併せて実施している。このことから、平川市議会として友好交流を締結した台中市について、幅広い分野における情報収集並びに交流メニューの調査・研究等、今後の政策に反映させることを目的に視察研修を実施した。

●台中市交流ミッション団

青森県・平川市・台中市友好交流記念並びに東奥日報創刊130周年記念事業として東奥日報社が主催する台湾チャーター便（青森～台中）を利用し、青森県青山副知事を団長とする一行31名でミッション団を編成、今後の友好交流の基礎となる現地の情報収集及び人的交流を実施した。

参加者：青森県、平川市（市長・市議会議員 他）、
市内企業、国際交流協会、青森空港ビル、
東奥日報社



●参加議員

齋藤政子、齋藤英仁、佐藤 雄、田中友彦、工藤竹雄、小野敬子、大川 登、佐藤 寛（計8名）



●所感（要約）

今回の台中市訪問は、昨年12月に「青森県・平川市・台中市」と友好交流協定を締結した記念チャーター便によるミッション団としての議員研修視察となった。

敗戦までの50年も続いた統治による影響は大きく、台湾の日本に対する感情が好意的であることを台中市政府や視察先等で強く感じられた。宝覺寺では、戦前亡くなられた日本人墓地もあり、私たちが訪れても以前からの友達のように日本人を受け入れてくれる。

観光面で驚いたのは、山頂近くにある水着で入浴する谷関温泉である。青森県、特に温泉の多い平川市との観光交流には目を輝かせ、今後の展開次第では具体的に交流が始まりそうである。

この研修視察を通して、平川市にどう生かしていくのかと考える時、まず私たちが台中市を知り、台中市の皆さんに平川市を知ってもらうことだと思う。

第一に、台湾がりんご輸出の窓口だということ。どういうりんごを好むのか、価格はどうか、いろいろな国からりんごが輸入されている中で、日本のりんごの位置付けはどうか。第二に、観光面では来訪客数が毎年増えていること、ファームステイでも子どもから家族までの交流も増えていること。問題は宿泊施設である。ここをクリアしなければ長期滞在や観光誘客につながらない。

台中市の人々は雪、りんごが大好きで、先祖を大事にする。最も親しみのある、そして理解しあえる隣人であり友人だと思う。

キーワードとなる「温泉、りんご、ファームステイ」をもとに青森県と連携し、今後の対等な相互交流の進展を期待したい。



議員研修視察報告

●研修視察期間

平成29年10月10日（火）～10月12日（木）

●研修目的と視察先

1. 新庁舎建設について（兵庫県加東市役所）

近年、新庁舎を建設した自治体を視察し、当市で計画されている新庁舎建設事業に資することを目的とする。

2. 財政再建について（兵庫県篠山市役所）

合併して深刻な財政状況に陥りながら、市民と一緒に行財政再建に取り組み、再生モデルとして全国に誇れるまちづくりを進めている自治体を研修し、当市の行政改革に資することを目的とする。

●参加議員

齋藤律子、石田昭弘、山口金光（計3名）



平成25年に完成した新庁舎（加東市役所）



説明を受ける議員（篠山市役所）

●所感（要約）

■兵庫県加東市・新庁舎視察について

建設から3年8か月が経過している加東市の例は大変参考になった。庁舎の延床面積は8,867.22㎡、2階部分が保健センターの機能と大会議室が大半を占める配置がされており、建設費30億円を守るため来客用のエレベーター2基が削られたとのこと。議会棟は廊下からのネット配線が気になり、細部までの計画性と議会本来の機能を達成するための積極的な意見の取り入れが必要と感じた。

今回の視察で強く感じたことは、市役所は本来、用事があれば来庁するところであり、市民にとっては場所がわかりやすく、用事がたしやすいた所であってはならないこと、また、職員にとっては機能的に仕事のしやすい建物でなければならないこと、この2つの条件が優先するものと感じた。

■篠山再生計画の視察について

平成19年5月から酒井市長のもとで始まった再生計画は、歳入歳出のバランスが取れるのが目標よりも1年早い平成31年とのこと。こうした涙ぐましい行財政改革は決して名誉なことではないが、市民や職員に負担を強いるだけではなく、市民の力を借りながら城下町という観光資源を生かし、従来から有名な黒豆、丹波栗などの基幹産業を軸としたまちづくりにも力を注いでいた。平日の商店街の賑わいや飲食店の繁盛ぶり、空き家の古民家再生など、どこの自治体でも頭を抱えている課題も順調のように見えた。

視察者の受け入れの姿勢や説明等を見るに職員も磨かれており、再生計画に取り組む職員としての苦難の道を垣間見ることができた。市民の協力を得ながら一丸となった取り組みは、平川市にとっても参考になる視察だった。

* 議会の動き *

平成29年

- | | | | |
|--------|-------------------------------|-------|---|
| 9月 | | 12日 | 中央公園遊具開放式に議長出席 |
| 7~22日 | 平成29年第3回定例会 | 17日 | 保育料軽減の陳情者来庁に議長出席 |
| 12日 | 木村太郎お別れの会に議長出席 | ◇日 | 第12回平川市学校音楽発表会に議長出席 |
| 17日 | 「祝」敬老お楽しみ会に副議長出席 | | |
| 20日 | 平成29年黒石地区交通安全大会に議長出席（田舎館村） | 11月1日 | 群馬県館林市議会行政視察に議長出席 |
| 22日 | 第9回津軽みらい農業協同組合通常総代会に議長出席 | ◇日 | 千葉県流山市議会行政視察に議長出席 |
| 25日 | 秋田県鹿角地域振興局への要望活動に議長出席（秋田県鹿角市） | 2日 | 第12回庁舎建設委員会 |
| 29日 | 平川市観光協会一般社団法人化記念祝賀会に議長、議員出席 | 7日 | 青森県統計大会に議長出席 |
| | | 9~10日 | 平成29年度青森県市議会議長会第2回定期総会に議長、事務局長出席（八戸市） |
| 10月1日 | 平川市スポーツデーに議長、議員出席 | 13日 | 平成29年第2回青森県後期高齢者医療広域連合議会定例会に議長出席（青森市） |
| 4日 | 第13回議会改革推進委員会 | ◇日 | 知事を囲む懇談会に議長、事務局長出席（青森市） |
| ◇日 | 平成29年度青森県市議会議員研修会（五所川原市） | 14日 | 平成29年交通安全青森県民大会受賞祝賀会に議長出席 |
| 8日 | 弘前駐屯地創立49周年記念日行事に議長出席 | ◇日 | 議会広報特別委員会 |
| 10~12日 | 兵庫県加東市、篠山市に議員研修視察 | 27日 | 平成29年度高規格道路建設及び道路整備促進青森県総決起大会に議長出席（青森市） |

ようこそ 平川市へ

11月1日に千葉県流山市議会議員ほか9名、群馬県館林市議会議員2名が共通投票所について、当市へ行政視察に訪れました。選挙管理委員会事務局より説明が行われ、来訪された議員からは導入の経緯や理由について等の質問がなされました。



流山市議会



館林市議会

◆◆ 編集室 から ◆◆

12月定例会より、当議会にもタブレット（携帯情報端末）が導入されました。議会のタブレット導入は数年前から全国的に推進されてきており、本県においても4例目となります。

導入することによって、ペーパーレス化に伴う紙資料の大幅な削減、事務連絡の簡略化等による労務作業の効率化が図られ、これまで要した紙、労力、時間等の総合的なコストカットが見込まれます。

また、議案書や予算・決算書等の膨大な量に及

ぶ資料も全て1台の端末に収まり、時と場所を選ばず閲覧可能となります。これまで日々の議員活動の中で、市民の方からの問い合わせに対して、正確な情報をお伝えするために、資料を確認してから後日ということがしばしばあったのですが、今後は直ちに回答できそうです。

全議員に貸与されたタブレットが、今後、多くの市民の皆さんの目に触れることを期待して、私もしっかりと活用させていただきます。

（工藤 貴弘）

